

福島県における復興祈念公園のあり方  
(基本構想への県提言)  
検討有識者会議

---

検討有識者会議 資料

【復興祈念公園候補地選定の経緯】

平成27年10月9日

福島県土木部まちづくり推進課

# 1.福島県における復興祈念公園の検討経緯

平成23年7月

東日本大震災からの復興の基本方針【国】  
「地元発意による鎮魂と復興の象徴となる森や丘や施設の整備を検討する。」

平成24年3月

震災復興祈念公園の意義、担うべき役割、基本的な理念等に関する技術的な側面から検討し、「震災復興祈念公園のあり方」を整理【国】

平成26年10月

新生ふくしま復興推進本部の下、「東日本大震災における追悼、鎮魂等の施設検討プロジェクトチーム」を設置し、コンセプト、候補地選定プロセス、候補地選定に向けた視点等を検討【県】

※沿岸7市町(新地町、相馬市、南相馬市、浪江町、双葉町、富岡町、いわき市)から要望  
※プロジェクトチームで現地調査及び各市町へのヒアリングを実施

平成27年4月

新生ふくしま復興推進本部会議において福島県復興祈念公園候補地の決定【県】

## ◆福島県における復興祈念公園 候補地選定の視点

- 津波被害等が甚大であり、犠牲者が多く追悼の場として妥当性があること。
- 沿岸部かつ被災が実感でき、震災の記憶と教訓を伝承する場としての妥当性があること。
- 土地の形状や規模に復興祈念公園としての妥当性があること。
- 津波被災地並びに避難指示区域の復興を牽引する施設として貢献度が高いこと。

等

## 2.福島県における復興祈念公園の候補地決定(H27.4)

### ■双葉・浪江両町にまたがるエリア(中野・両竹地区)

